2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	評価実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (6) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	施設・病院等
担当教員	石橋 康信	実務経験とその関連資格	作業療法士として病院・施設で勤務し、身体障害者領域・精神障害者領域で各疾患に対して作業療法を実践。新人教育、実習学生の指導に携わる。			

《授業科目における学習内容》

作業療法士となる覚悟、知識、関心を高め、能動的、主体的に問題解決的な学習態度を身につけるとともに、他職種について理解する。また、臨床教育指導者のもと評価手段(観察、面接、検査・測定など)を体験的に学修する。

《成績評価の方法と基準》

実習点数60%、症例発表・OSCE(客観的臨床能力試験)結果・提出物など40%で評定する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

購入教科書・参考書
検索にて文献収集

《授業外における学習方法》

■実習前■:オリエンテーションや実習前準備を行う。実習前準備では、観察・評価法の復習、評価のまとめについてを学習し、OSCEにて臨床能力の形成評価を行う。 ■実習期間中■:「事前学習 (30分):予定確認・準備」「事後学習 (30分):記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案」が基本となる。 ■実習後■:学内での実習報告会、実習担当教員からのフィードバック、OSCEにて臨床能力の形成評価を行う。

《履修に当たっての留意点》

指導は真摯に受け止め、主体的に行動に移すこと。基本的な学生としての身なり、立ち居振る舞いに気をつけること。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	①臨床における体験を通して、対象者の作業療法内容を深く理解することができる。②実習生として学生らしく適切な態度や行動、礼節を取り、作業療法士の補助を行うことができる。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	①臨床における体験を通して、対象者の作業療法内容を深く理解することができる。②実習生として学生らしく適切な態度や行動、礼節を取り、作業療法士の補助を行うことができる。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	①臨床における体験を通して、対象者の作業療法内容を深く理解することができる。②実習生として学生らしく適切な態度や行動、礼節を取り、作業療法士の補助を行うことができる。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	①臨床における体験を通して、対象者の作業療法内容を深く理解することができる。②実習生として学生らしく適切な態度や行動、礼節を取り、作業療法士の補助を行うことができる。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	③適切な評価選定及び評価が行える。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	③適切な評価選定及び評価が行える。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	③適切な評価選定及び評価が行える。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	③適切な評価選定及び評価が行える。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	④評価から目標が考えられる。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	④評価から目標が考えられる。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	④評価から目標が考えられる。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	⑤目標に沿った治療計画の立案が出来る。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	⑤目標に沿った治療計画の立案が出来る。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	⑥評価・目標・治療計画から統合と解釈ができる。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	⑥評価・目標・治療計画から統合と解釈ができる。	所持している教科書・参考書	事前学習 予定の確認・準備。(30分) 事後学習 記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体策の立案。(30分)
		各コマにおける授業予定	臨床実習(6週間)		